新規事業採択時評価結果（平成１６年度新規事業化箇所）

担　当　課：九州地方整備局道路部地域道路課
担当課長名：西川　勝義

事業名	一般国道２６３号 三瀬（みつせ）トンネル有料道路（２期）	事業区分	一般有料道路事業	事業主体	佐賀県道路公社
起終点	自：福岡市早良（さわら）区大字曲渕（まがりぶち） 至：福岡市早良（さわら）区大字曲渕（まがりぶち）			延長	１．９㎞

事業概要

一般国道２６３号は、福岡市を起点とし、佐賀市へ最短ルートで通じる総延長約５３㎞の主要幹線道路であり、福岡都市圏と佐賀県の経済・産業の発展を支援し、沿線の地域振興を支える重要な路線である。県境の三瀬峠（みつせとうげ）を越える三瀬（みつせ）トンネル有料道路の交通需要は、供用開始以来年々大きくなっており、交通の難所となっている隣接区間１．９㎞ を２期事業として整備するものである。

事業の目的、必要性

交通障害の解消と安全で円滑な交通の確保を図ることにより、両都市の相互交流を促進し、沿線の観光産業の活性化、物流の効率化に寄与するものである。

全体事業費	７３億円（うち有料事業費７３億円）		計画交通量	７，０００台／日	
費用対効果分析結果	B／C ２．５	総費用 ６０億円 事　業　費：　５９億円 維持管理費：　１億円	総便益 １５２億円 走行時間短縮便益：　１４９億円 走行費用減少便益：　２億円 交通事故減少便益：　１億円	基準年 平成１５年	

事業の効果等

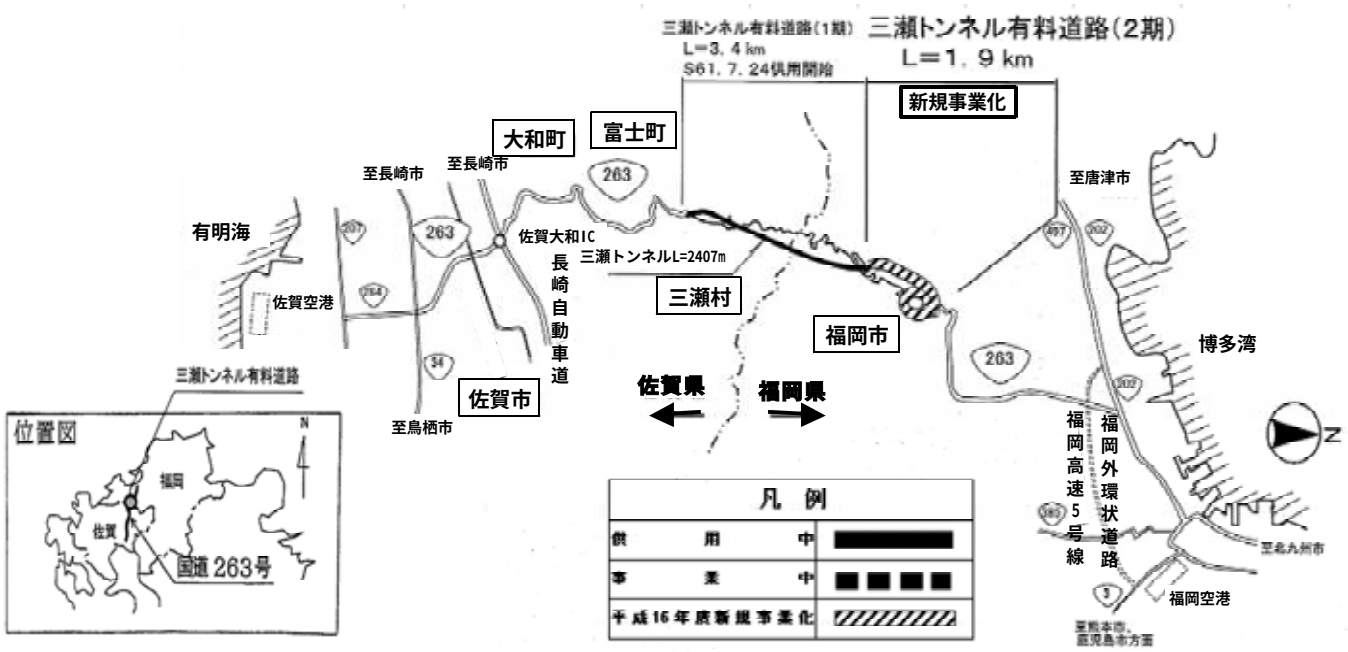
・物流効率化の支援（特定重要港湾へアクセス向上が見込まれる）
・国土地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難箇所が改善される）
・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される）

など１０項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

一般国道２６３号は、大型車交通機能向上、緊急輸送ネットワークの充実、地域経済の発展と沿線地区の生活環境の向上等のために不可欠な道路であり、福岡市等関係２市３町村の首長で構成される「一般国道２６３号改良整備促進期成会」から、平成１４年１１月に全線早期整備の要望等を受けている。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。